

平成 27 年 9 月 17 日

共通基盤科目「学際情報科学論」が新しくなりました

情報科学を基盤とし、学際的な知識を具体的な問題解決の実践に役立てる経験を通して、その有用性を理解します。これにより実世界を捉える基盤としての新しい教養を身につけます。このために本講義では次のような実践的なプログラムを提供します。学生さんはこの内の1つを選択して履修してください。詳しくはシラバスを見てください。

例えば、起業とかビジネス企画に興味ある人

(1) センサー情報を使った e-ヘルスケアサービスの創出

技術を生かした製品アイデアの見出し、製品コンセプトの立案などのアウトプット型の製品企画を実践すると共に、市場調査やマーケティング、競合分析といったマーケットインの発想に基づく商品企画も行います。企画はプレスリリースに取りまとめます。

例えば、フロススポーツをデータで応援したい人

(2) データに基づくプロスポーツ選手のパフォーマンス評価とチーム強化戦略策定

プロ野球の様々なデータを事例に、プロスポーツにおける”データ分析”とはなにかを考察します。データの分析から、その結果を表現するアウトプットの形まで、どんな相手にも説明することができ、理解してもらえる方法を学びます。

例えば、Web システムの作り方を学びたい人

(3) Web システムのグループ開発実践

情報システム的设计・開発の基礎を実際の開発を通して身につけます。Web システムの小規模な開発プロジェクトを対象として、要求分析から動作テストまでの一連の開発プロセスを体験し、習得します。

例えば、こころと体のつながりを理解したい人

(4) 心理状態を生体情報から測る

心理学的測定の特異性について、「精神疲労」をテーマに体験学習します。また、精神疲労がなぜ起こるかについて、「能動的注意」という視点から学びます。

本講義のオリエンテーションを 10 月 2 日（金）14：40～ 中講義室で行いますので受講希望者はお集まりください。なお、希望者に偏りがある場合は調整することがあります。予めご了承ください。